

流体中の粒子の挙動解析

大阪大学大学院 工学研究科 NTN次世代協働研究所 古林 卓嗣

目的 流体中の粒子挙動を計算し、粒子が流体物性に与える影響を明らかにする。

内容 粒子の形状等を変更し、それらが流体物性に与える影響を調査した。

結果 粒子の形状等が流体物性に与える影響を数値計算の観点から明らかにすると共に、実験との整合を得た。

利用した計算機	OCUTOPUS
使用メモリ	10 GB
並列化	MPI
	自動並列